

【奨励賞】

「北方領土」

根室市立歯舞小中学校

2年 津嶋 明里

いまだ解決されていない北方領土問題。ロシアに不法占拠されている色丹島、択捉島、国後島、歯舞群島。その出来事から日本人には、ロシア人に対してマイナスな考えをもっている人もいる。しかし、私が今まで出会ったロシア人は、日本人にプラスな考えをもっていた。

一回目のビザなし交流で、ロシア人が日本にあるこの学校を訪れた。お互いに互いの国の言葉を話し、遊びやプレゼントを渡し合った。この時の皆の表情は笑っていた。

二回目のビザなし交流で私は、国後島に行ってきた。出迎えに来てくれたロシア人の中には、日本語を少し話すことのできる人もいた。住民の家を訪問した。日本人である私たちを快く歓迎してくれた。訪問先のロシア人はテンションが高く、来て良かったと思わせてくれた。意見交換や、学校見学を通して共通点や、異なる点などを見つけた。でも、ほとんど日本人と同じことがわかった。

交流を終えて、日本人がロシア人を嫌う理由がよりわからなくなった。ロシアのご飯はおいしいし、住民はいい人だ。日本人の墓を修理してくれている人もいるし、日本を好きだと言ってくれる人もいる。私は日本人に今のロシア人を見てほしい。領土を奪われて怒る気持ちも分らなくはない。だからそれで、嫌っていいわけではない。例えば、北方領土が日本に返ったとしよう。すると今、北方領土に住んでいるロシア人を追い出すことになる。日本人を追い出したロシア人のように。私たちが憎むべき相手は住民のロシア人ではない。ロシアのお偉いさんではないのか。憎むべき相手と同じようなことをして日本人の元住民は喜ぶのか。きっと喜ばないだろう。もちろん私もだ。このように誰かを追い出さなければ問題は解決されないのか。そんなことはない。もしも、北方領土が日本やロシアの領土でなかったら。もしも、北方領土が日本とロシアの共同の領土であつたら。誰も追い出されずにすむし、自由に行き来することもできる。固有の領土がそんなに大事なのだろうか。一番大事なのは、皆が納得できる解決策なのではないかと、私は思っている。

今の日本とロシアの関係はまるでアニメやマンガのラブコメだ。ロシアが日本に好意を持って、日本はロシアに敵意を向けている。でもアニメやマンガは必ず距離が縮まる。現実でも、日本とロシアの距離が、少しは発展しますように。